

## 第4学年国語科学習指導案

児童 4年2組 男12名 女19名 計31名  
指導者 室岡純子

相手の考えを受け止めて聞き、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く力を育てる学習活動の工夫

1 単元名 読んで想像したことを伝えよう (学習材名「ごんぎつね」 光村4年下 他)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

児童はこれまでに、「白いぼうし」で、色やにおいなど、場面の情景を想像させる言葉を手がかりにしたり、会話や行動から登場人物の人柄について想像したりしながら読む学習を行ってきた。

「一つの花」では、題名や作品のかぎになる言葉に着目したり、場面を対比させたりしながら登場人物の様子や気持ちを想像して読む学習を行ってきた。これらの学習を通して、児童は、登場人物や場面の様子を叙述に気を付けて読むことができるようになってきている。しかし、叙述から離れて想像している児童も見られる。

読むことの学習の中で互いの考えを聞き合うことについては、相手の考えを受け止めながら聞くようとしているが、相手の考えや理由に気を付け、自分のと比べながら詳しく聞くことは十分であるとはいえない。

このような児童に、叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読んだり、互いの考えや理由に気を付け、比べながら聞いたりする力をつけていくことが大切であると考える。

#### (2) 主たる指導事項と学習材

(P 2 2 参照)

#### (3) 指導にあたって

(P 2 2 参照)

### 3 単元の目標

(P 2 3 参照)

### 4 単元の評価規準

(P 2 3 参照)

### 5 学習指導計画 (18時間扱い)

(P 2 3 参照)

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

- ・相手の考えを受け止めながら、聞き合うことができる。 [対話の情意的要素]
- ・自分が選んだ新美南吉作品について、登場人物の気持ちの変化を聞き合うことを通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付き、まとめることができる。 [「読むこと」の能力]

### (2) 展開

段階	学習活動 (○発問・指示)	時間	学習内容	教師の関わり (☆ 評価)
みとおす	1 本時の課題を確認する。 自分が選んだ新美南吉作品について、登場人物の気持ちの変化を聞き合おう。	5	・学習のめあてを確かめる。  ・聞き合いの進め方を知る。 ・自分たちが選んだ作品について、登場人物の気持ちの変化を、読書会メモをもとに聞き合う。 ・自分の考えと比べながら聞く。	・自分が選んだ新美南吉作品について、登場人物の気持ちの変化やそのきっかけを聞き合う学習であることを示す。
ふかめる	2 学習の見通しをもつ。  3 登場人物の気持ちの変化を対話で聞き合う。 (1) 想像した登場人物の気持ちの変化やそのきっかけを聞き合う。 ○自分の考えと比べながら聞き合しましょう。 (2) 2回目の対話をする。 (3) 対話をもとに考えたことを読書会メモに書き足す。 (4) 全体で聞き合う。  (5) 聞き合った感想を書く ○対話をしての感想をふり返りシートに書きましよう。	37	◇同じ作品を選んだ友達と、登場人物の気持ちの変化やそのきっかけについて聞き合うこと。  ・はじめは～だった主人公が、最後には～に変わったと思います。どこからそう考えたかという、～と書いてあるところからです。 ・なぜ、そんなふうな気持ちに変化したと思いますか。 ・～とき、～は、どんな気持ちだったと思いますか。 ・わたしの考えと～さんの考えは似ていますね。(違いますね。) ・～さんの考えを聞いて、～と思いました。  ◇それぞれの本の登場人物の気持ちの変化を聞き合うこと。  ・わたしは、「 」という本の～という登場人物の気持ちの変化を考えました。はじめは～だった～が、～ということがきっかけで、最後は～という気持ちに変わりました。  ◇登場人物の気持ちの変化を聞き合ったことについて、感想をシートに書くこと。	☆相手の考えを受け止め、考えや理由を比べながら進んで聞こうとしているか。 (観察・学習シート) ☆登場人物の気持ちの変化を、聞き合ったことを基にまとめているか。 (観察・学習シート)  [努力を要する児童へ手立て] 登場人物の気持ちの変化を考えた手がかりになった叙述は同じだったか、気持ちが変わったきっかけはどうかを考え、詳しく聞きたいことを質問したり感想を言ったりするように促す。  ・自分と相手の考えや理由を比べ、違う考えも受け止めながら聞いたことで、考えを深めることができたことを価値づけるようにする。
まとめる	4 次時の見通しをもつ。	3	・読書会に向けてメモを清書し、リーフレットにまとめることを確認する。	